

## 平成 26 年度活動報告（留学生交流事業等）

構成団体名 高知大学

（事業名）平成 26 年度外国人留学生課外研修

（実施時期）平成 26 年 10 月 25 日（土）～26 日（日）

（事業の概要）平成 26 年度入学の外国人留学生を対象に高知県西部の幡多地域への 1 泊 2 日の課外研修を実施しました。この研修は、外国人留学生が日本の歴史や文化を体験し、地域への理解を深めるとともに、留学生間の親睦・交流を図ることを目的としており、留学生 42 名、日本人学生スタッフ 4 名、教職員 6 名が参加しました。

1 日目の研修では、留学生は、四国最南端の足摺岬の展望台から岬先端の断崖に立つ白亜の灯台や岩にくだける白い波頭を眺め、青い空の下に広がる雄大な太平洋に感動していました。また、岬の高台にあって境内に亜熱帯植物が繁る四国八十八ヶ所の第三十八番札所金剛福寺を参拝した後、海蝕洞門を眺望しながらの足湯体験をしました。

宿泊先の県立幡多青少年の家では、普段交流が比較的少ない他キャンパスの学生同士のほか日本人学生スタッフや教職員と寝食を共にし、学生企画の交流会やドッジボールなどのレクリエーションを通して交流を深めることができました。

2 日目の研修では、鰹のたたきや新鮮な魚介類が豊富に並ぶ中土佐町の久礼大正市場や海岸を散策し、ゆったりとした時間を過ごしました。

参加した学生からは、「いろいろな国の人と出会って交流することができて楽しかった」、「留学生にとっていい経験や思い出になるし、地域の活性化にもつながると思う」、「言語が通じないなど自分の課題（英語を勉強する）を見つけることができた。」などの感想があり、留学生や日本人学生にとって有意義なものとなりました。

（交流風景）



(事業名) 2014 年度学長主催外国人留学生等交流懇談会

(実施時期) 平成 26 年 12 月 10 日

(事業の概要) 高知大学朝倉キャンパス内高知大学生協食堂において、2014 年度学長主催外国人留学生等交流懇談会を開催しました。脇口学長の挨拶に続き、3 キャンパス(朝倉、岡豊、物部) 代表留学生による日本語や英語でのスピーチが行われ、日頃からお世話になっている関係者への感謝の気持ちが述べられました。本年度は留学生による歌やダンスの余興に加え、日本人学生による尺八演奏や民謡が披露され、それぞれの国の文化交流も行うことができました。また参加者全員による高知大学合唱団による学歌合唱のあと、余興の最後では日本語教員と多くの留学生による多言語での「幸せなら手をたたこう」が披露され、会場は多くの言語が飛び交い大いに盛り上がりました。本年度は朝倉キャンパス内での開催ということもあって、211 名にもものぼる参加者が集い、国や地域を超えて楽しく歓談する様子が会場のあちこちで見られ、大盛況のうちに幕を閉じました。

(交流風景)



(脇口学長挨拶)



(全員で合唱)



物部キャンパス<ガーナ>

(留学生代表による挨拶、朝倉キャンパス<ナイジェリア>、岡豊キャンパス<スウェーデン>)



(日本人学生によるパフォーマンス)



(ベトナムからの留学生によるよさこい踊り)

## 平成 26 年度活動報告（国際交流事業等）

構成団体名 高知大学

（事業名）高知大学タイリエゾンオフィスを開所

（実施時期）平成 26 年 11 月 20 日

（事業の概要）高知大学では、国際交流を推進するため、国際的な共同研究、留学生の受入・派遣、海外広報の業務など本学の情報発信等を目的として、タイにおける本学の海外拠点として4か所目となる「高知大学タイリエゾンオフィス（Kochi University Thailand Liaison Office）」を大学間協定校であるカセサート大学内に開設しました。

2014 年 11 月 20 日、高知大学タイリエゾンオフィスの開所式が執り行われました。開所式では、カセサート大学の副学長である Damrong Sripraram 博士より歓迎のあいさつをいただいた後、菊地るみ子国際連携副学長より挨拶が行われ、在タイ日本国大使館俵幸嗣一等書記官や JICA バンコク事務所池田修一所長などから祝辞をいただきました。その後記念撮影を経て、オフィスの前で生花によるリボンのカットと内覧会が行われました。その後ランチを挟んでのレセプションでは、京都大学アセアン・センター・バンコク事務所柴山守センター長や日本学術振興会バンコク研究連絡センターの山下邦明センター長に祝辞をいただき、カセサート大学関係者をはじめ、タイ国内の協定校関係者や本学卒業生、在タイ日本国大使館などからご参加いただき、参加者の総勢は 40 名にのぼりました。



在タイ日本国大使館俵幸嗣書記官



JICA バンコク池田所長



新納宏教授による概要説明



記念品贈呈の様子（上）  
記念撮影（左）





テープカットの様子



オフィスの入口



オフィスの内部の様子

同日、タイ同窓会 (Kochi University International Student Network (Thailand) Alumni Association : KUTAA) 第1回総会を開催し、会長 (Dr. Lattirasuvan Thanakorn) や副会長 (Dr. Maliwan Tanasombat、Dr. Naruemol Kaewjampa) 役員 (Dr. Chongrak Wachrinrat、櫻井克年理事、新納宏特任教授などが選出されました。同窓会では、タイとの長い研究教育交流活動を行っている櫻井克年総務・国際担当理事のビデオメッセージも流され、その後引き続いて田中壯太農学部教授よりタイ出身の学生との交流の歴史が写真と共に紹介され、あらためて本学とタイ出身の留学生等との絆を感じる機会となりました。また同窓会では、今後の同窓会活動に関して活発な意見交換が行われ、具体的な今後の取組についての提案がなされました。



櫻井理事によるビデオレター



田中教授によるタイ同窓生紹介

今後は、タイ同窓会とも連携しながら特に優秀な留学生を獲得していく取組を行っていくほか、学生交流の際の拠点として本学の教職員に使用していただくとともに、タイ国内にある JASSO や JSPS などの機関や 35 近くの日本の大学機関との情報交換など、現地にオフィスがある強みを生かした活動を行っていく予定です。

## 平成 26 年度活動報告（国際交流事業等）

構成団体名 高知大学

（事業名）国際協力機構の課題別研修「総合防災行政コース」を受託実施

（実施時期）平成 26 年 8 月 12 日から 9 月 3 日まで

（事業の概要）JICA 研修事業は、開発途上国の国づくりを担うリーダーたちを招き、日本の様々な課題解決策を探ってもらう我が国の ODA 事業の一つです。

今回の研修コースは、主に津波災害が予測される 11 か国 15 名の行政官を招き、南海トラフ大地震に焦点をあて、その発生のメカニズム、規模と想定被害状況、国・県・市町村の防災対策について講義と視察により理解し、研修成果の自国への応用について話し合い、それぞれの研修員が帰国後、各国の防災対策のアクションプランを作ることを目的に実施したものです。

研修を受けた研修員からは、「日本の災害を未然に防ぐ取り組みそのものが印象的。帰国後は、多くの国民に防災の大切さを伝えたい」、「東北地方の被災地の様子をテレビで見ている。津波の威力に驚いた。関係機関が連携した復旧対応に感銘を受けた。自国でも活かせられると思う」といった感想が寄せられました。

また、高知県滞在中は地元の食を楽しんだり、本学学生との交流活動にも積極的に参加してもらい、幅広く高知県を経験してもらうことができました。



（開所式の様子）



（被災者住民との交流）

## 平成 26 年度活動報告（国際交流事業等）

構成団体名 高知大学

（事業名）国際協力機構の課題別研修「“子どもの学びを保障する”へき地教育の振興－MDGs/EFAの達成に向けて」を受託実施

（実施時期）平成 26 年 9 月 4 日から 9 月 17 日まで

（事業の概要）高知大学は今年度、独立行政法人国際協力機構（JICA）から課題別研修コース「“子どもの学びを保障する”へき地教育の振興－MDGs/EFAの達成に向けて」を受託し、12ヶ国 19人が参加しました。JICA 研修事業は、開発途上国の国づくりを担うリーダーたちを招き、日本の様々な課題解決策を探ってもらう我が国の ODA 事業の一つです。

今回の研修コースは、中山間地域の過疎化・高齢化、人口減少が進む、全国でも有数のへき地校の割合が高い高知県をフィールドに、自治体や学校、本学が持つ知見や経験を、研修コースの中にも織り交ぜてプログラムを策定し、実施いたしました。研修員は日本のへき地教育の現状を認識し、課題解決のための取り組みを講義と視察、ワークショップなどにより理解しました。

研修を受けた研修員からは、「複式学級を担当する先生方の用意周到な授業準備に感動した。」「子どもたち自身が自分の学校・教室を掃除したり、給食の準備をしたりする場面を見させてもらった。これならば特別な予算は必要なく、すぐにでも取り入れられることだ」といった感想が寄せられました。また、高知県滞在中は地元の食を楽しんだり、本学学生との交流活動にも積極的に参加してもらい、短い研修期間ながら、幅広く高知県を経験してもらうことができました。



（開所式の様子）



（研修の様子）

## 平成 26 年度活動報告（地域交流事業）

構成団体名 高知大学

（事業名）ミニディーを支援（場所：朝倉ふれあいセンター）

（実施時期）平成 27 年 1 月 16 日

（事業の概要）朝倉ふれあいセンターにおいて開催された高知市老人クラブ連合会主催の地域交流ミニディーに韓国から交換留学で来ている 3 人の留学生が参加し、老人会の皆さまと交流の場を持ちました。3 人の留学生は韓国の文化、お料理、言葉等を紹介し、また、韓国の歌やテコンドー等を披露しました。お昼はふれあいセンタースタッフの手作りちらしずしやおぜんざい等が振る舞われ、双方にとって異文化体験づくりの交流会となりました。



（事業名）国際 C 級グルメ大会に参加（場所：朝倉ふれあいセンター）

（実施時期）平成 27 年 1 月 24 日

（事業の概要）地元 12 人の方の家庭料理と、6 か国留学生のお国自慢料理による食の交流会に参加しました。会費おとな 300 円・子ども 100 円、先着 80 人でチケットを販売し、留学生には材料費が提供され、朝から現地で料理づくりをして参加しました。本学の教員も、タイの料理トム・ヤム・クムを出品しました。

